

キャラクター名	プレイヤー名
中島 理瑠 (なかじま みちる)	

シンドローム	エンジェルヒロウ ハヌマーン	ワークス	UGNチルドレンB	カヴァー	高校生
オプション		年齢	16	性別	女
覚醒	生誕	衝動	殺戮	初期侵食率	35 %
出自	普通の家	経験	逃走	邂逅	教官

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	24
肉体	1	0	0			1	行動値	15
感覚	4	1	0			5	(非装備時)	15
精神	2	0	0			2	戦闘移動	20
社会	1	0	0			1	全力移動	40

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃	2		RC	3		交渉		
回避	1		知覚			意志			調達		
運転:			芸術: 音楽	1		知識:			情報: UGN	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
		0				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品		合計装甲:	0	合計回避:	0
ロイス					
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	タス	消費
[41] 神速の担い手/スピードスター	P	N			
DELTA STONE (デルタストーン)	P	傾倒	N	依存	
<コンセントレイト>	P	執着	N	不快感	
	P	N			
	P	N			
	P	N			
	P	N			
最大財産P:	2	残り財産P:			

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果:	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果:	コスト分のHPで復活							
サイレンの魔女	5	5	メジャー	視界	シーン(選択)	対決	-	
効果:	攻撃力+Lv×3、装甲無視							
光の手	1	2	メジャー/リアクション	-	-	-	-	
効果:	<RC>判定を【感覚】で判定							
戦いの予感	3	2	セットアップ	至近	自身	自動	-	
効果:	行動値+Lv×10、1回/1S							
ストライクミラージュ	1	6	メジャー	-	-	対決	120%、殺戮	
効果:	リアクション不可、Lv回/1S							
死神の疾風	1	5	イニシアチブ	至近	自身	自動	120%、殺戮	
効果:	攻撃まで【行動値】+10、ダメージ+3D10、Lv回/1S							
スピードスター	1	5	セットアップ	至近	自身	自動	Dロイス	
効果:	ラウンド間攻撃力+【行動値】、使用时リアクション不可、1回/1シーン							
Rストリーミング&ウィンドスカーフ	2	2	マイナー					
効果:	シーン間メジャー判定+2DX							
	★							
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

斜陽に衰亡を見出す悟り系UGNチルドレン。繊細で多感な幼年期では、瞳に映るすべてが色彩豊かで輝いて見えた。万能であるかのように振舞う大人たちに、テーマパークのように興味唆られる社会、そして無限に発展し幸福な未来を約束するような世界。少女は周りをとりまくすべてに人一倍関心を持ち、その知識欲が少女を一早く大人びさせた。触れていくうちに、知っていくうちに、そしていつの間にかそれを構成する一部に加わっていくうちに、少女の世界はみるみる色褪せていった。醜く歪で未来がない。命を賭すべきステージもなければ、命を懸ける価値もない。そもそも命を燃やしてなんか生きたくない。そうして少女は瞳を閉じた。外界との接触を阻むようにイヤホンをして、己の世界に閉じこもるようになったのだ。ただ死んでいないだけのまま生き永らえている。

性格は物静かで無気力。無表情で反応が薄いがそれは激情家である一面を内に秘めているから。学校の昼食、バイト先のシフト、趣味の軽音サークルなどでは、その場をやり過ごすための顔なじみが多いが、友人以上の関係性を形成したと聞かれない。問題に直面するとたとえ答えがでなからうとも黙々と思索し、自分がすべきだと思ったことを淡々と遂行する。それは少女のうちに秘めた規範や正義感に基づいたもの(世界が美しくあってほしいという哲学に基づいたもの)であるが、これには無自覚的で怠惰な自分が後々楽をするためだというそれっぽい理由を並べるところがある。これらのイデオロギーを他者に強要することはないが、能率の悪い不器用な正直者や無自覚に悪意振りまく悪党には堪え性のなさからおもわずきつく当たってしまうことがある。特技は小学生まで続けていたピアノによる相対音感と初対面の他人に対する人当たりのよさ。好きなものはタルタルソースがよく合う揚げ物と都市迷彩にうってつけの目立たない服と汗の似合う努力家。嫌いなものは魚卵と炭酸、大きな光と声、5人以上の集団、不潔、汗すらかこうとしない怠け者。熱狂しているものは自分が生まれるより前に解散してしまったロックバンド”DELTA STONE (デルタストーン)”。

少女の絶望はオーヴァードに覚醒しようと思わなかった。〈サイレンの魔女〉は現存するものなかでも屈指の殲滅力を持つエフェクトで、〈スピードスター〉に限られた能力者しか持ち合わせていないエフェクトだと聞かされた。それがどうした。返却された偏差値57の全国模試が3年後にはなんの意味ももたないように、ちょっとばかり珍しいだけの力になんの意味がある?数多の外敵をひれ伏させたとしてこの世界を守る価値などあるのか?自分を上回る更なる特別なエージェントに打倒されてはじめて身の程を知れというのか?世界の行く末は「賢者の石」に選ばれるようなオンリーワンで特別な人物たちの合議によって決められているのだから、いままこうして怠惰を貪り命を擦り減らしている自分はそのような選ばれし人間ではないのである。それが少女の出した結論(いいわけ)だ。……ただ、世界の醜悪さを知らないわけでもないし世界の醜悪さに抗えないわけでもない。世界を理解したうえで見放しているのだ。この矜持を保つためには支部から命ぜられる任務くらいは涼しい顔でこなさなければ無能の烙印を押されるというものだ。そのような建前にちょうどいいプライドと捨てきれなかった